

宮城・青森・岩手の24社が製品PR



仙台市 直取引機会増大で商談会

6次化へ生産・飲食店結ぶ

【仙台市】仙台市の繁華街国分町で26日、飲食店と宮城、青森、岩手の生産者や加工メーカーとの商談会が開かれた。今週2回目となる商談会は震災以降、活性化を促す6次産業化推進の流れが背景にある。宮城県内では飲食店から生産者にアプローチし、6次産業化を目指す動きが目立つ。今回の商談会も生産現場と飲食店をマッチングし、直接的な取引の機会を増やして6次産業化を進めていくという狙いがある。

商談会には市内で居酒屋やレストランなど飲食店が活発に行われた。

- ### 水産関係出展社
- (順不同) (塩釜)
- ▷MKコーポレーション(塩釜)
 - ▷アイリンク(仙台)
 - ▷奥松島水産(東松島)
 - ▷豊嶋(石巻)
 - ▷かねひろ水産(陸前高田)
 - ▷海遊(雄勝)
 - ▷マルヤ鮮魚店(東松島)
 - ▷のり工房矢本(同)
 - ▷浜人(十三浜)
 - ▷三陸オーシャン(仙台)
 - ▷津田鮮魚店(石巻)
 - ▷大友水産(東松島)

仙台市国分町のリストランテ「Ball & Cheri」(和食とカキ小屋)などの商談会が開かれた。今週2回目となる商談会は震災以降、活性化を促す6次産業化推進の流れが背景にある。宮城県内では飲食店から生産者にアプローチし、6次産業化を目指す動きが目立つ。今回の商談会も生産現場と飲食店をマッチングし、直接的な取引の機会を増やして6次産業化を進めていくという狙いがある。

純損失13億4100万円

大阪市場14年度 指定管理は補正対応

大阪市場14年度指定管理は補正対応。純損失13億4100万円。大阪市場14年度指定管理は補正対応。純損失13億4100万円。大阪市場14年度指定管理は補正対応。純損失13億4100万円。

大阪市場14年度指定管理は補正対応。純損失13億4100万円。大阪市場14年度指定管理は補正対応。純損失13億4100万円。大阪市場14年度指定管理は補正対応。純損失13億4100万円。

鮮サケ輸出単価1%

ノルウェー 冷凍物は6%

鮮サケ輸出単価1%。ノルウェー 冷凍物は6%。鮮サケ輸出単価1%。ノルウェー 冷凍物は6%。

鮮サケ輸出単価1%。ノルウェー 冷凍物は6%。鮮サケ輸出単価1%。ノルウェー 冷凍物は6%。

「減少傾向に」千葉や相模湾。長谷川洋、千葉県水産

理由を説明。海老沢良忠 うち太平洋の資源比率水産で推移する。減少傾向になる」と異なる見解もあつた。

二平技術専門員は「資源の高水産期は、春生きた魚が主体となる傾向がある」とし、「05年ころから気候が温暖期に入り、実際に春まれの魚が多くなってきた」と

総合研究センター資源研究室研究員は「近年、千葉県周辺海域は春生まれが減少。資源低水準時に起きる夏秋期生まれの増加がみられるため、今後、資源は減少傾向になる」と説明。松本修・神奈川県水産技術センター企画課主任研究員も相模湾の資源は「09年から減少期にある」と語った。

八角直道・茨城県水産試験場研究調整部長は「過去発生期を識別する手法を解説した」。

定置経営モデル構築へ

改革型漁具・漁船を導入

中央協議会

2月27日あった第25回中央協議会(漁業構造改革総合対策事業)で、秋田県地域プロジェクト「改革型漁具・漁船」が承認された。同改革計画では大型定置網漁具の経営改革が必須と認められ、安全で効率的な作業を可能にする「改革型漁具」の導入が計画されている。具体的には、流し防止ネット、大型ラゲージ付ネットを装備し、災害予防漁具を導入する。一方、水揚げし、小型金網を切り取り、網を回収し、吹雪し(小型金網)を分け、箱詰め作業を進める。選別機能のある箱網を流しを設置。安全で効率的な作業を可能にする「改革型漁具」の導入が計画されている。具体的には、流し防止ネット、大型ラゲージ付ネットを装備し、災害予防漁具を導入する。一方、水揚げし、小型金網を切り取り、網を回収し、吹雪し(小型金網)を分け、箱詰め作業を進める。選別機能のある箱網を流しを設置。安全で効率的な作業を可能にする「改革型漁具」の導入が計画されている。

役員異動

大和興業(4月1日) 執行役員 西田正三郎 取締役 山田正三郎 取締役 山田正三郎 取締役 山田正三郎

ベニレイ(4月1日) 執行役員 西田正三郎 取締役 山田正三郎 取締役 山田正三郎 取締役 山田正三郎

昨年9月から始まった安値の獲獲ブクに足を引かれ、中水は1万円を割り、5000円前後まで軟化した。その後、2月4日からの大寒波に支え荒天水揚げが中断。天然トランプの需給は瞬間的に逼迫し、相場は一時3万円に迫る高値に。漁開の18日から好水揚げが続く。3日現在6000、3000円で弱保合。12月に前年2倍超の好水揚げがあった内海トランプ漁は、大分県の延岡漁船が従来の女子ウオからトランプ漁に転換するなどの高値を呼んだ。だが、年明けは漁が途切れた。魚体組成が大歪り、放流魚主体の漁獲まで一

二平氏「30年まで安定増」

JAFIC「中水準」「減少」指摘も

理由を説明。海老沢良忠 うち太平洋の資源比率水産で推移する。減少傾向になる」と異なる見解もあつた。

二平技術専門員は「資源の高水産期は、春生きた魚が主体となる傾向がある」とし、「05年ころから気候が温暖期に入り、実際に春まれの魚が多くなってきた」と

理由を説明。海老沢良忠 うち太平洋の資源比率水産で推移する。減少傾向になる」と異なる見解もあつた。

二平技術専門員は「資源の高水産期は、春生きた魚が主体となる傾向がある」とし、「05年ころから気候が温暖期に入り、実際に春まれの魚が多くなってきた」と

理由を説明。海老沢良忠 うち太平洋の資源比率水産で推移する。減少傾向になる」と異なる見解もあつた。

二平技術専門員は「資源の高水産期は、春生きた魚が主体となる傾向がある」とし、「05年ころから気候が温暖期に入り、実際に春まれの魚が多くなってきた」と



左から加計学園の加計孝太郎理事長、大森雅夫岡山市長、立会人の龍門功岡山市市場事業管理者

役員異動

ベニレイ(4月1日) 取締役 山田正三郎 取締役 山田正三郎 取締役 山田正三郎

大和興業(3月31日) 執行役員 西田正三郎 取締役 山田正三郎 取締役 山田正三郎 取締役 山田正三郎